

Values in Action Inventory of Strengthsの簡易版, Character Strengths Rating Form (CSRF) の日中翻訳ⁱ

青木多寿子 ・ 李 明璐* ・ 曹 立勤**

本稿は Value in Action Inventory of Strengths (Peterson & Seligman, 2004) の簡易版である Character Strengths Rating Form (CSRF; Ruch, Martínez-Martí, Proyer, & Harzer, 2014) を日本語・中国語に翻訳したものである。VIA-IS は人の幸福につながる特性を網羅的に示したもので、6 領域24種類の character strengthsそれぞれに10項目、総計240項目で構成された尺度である。筆者達はこの総数の多さが character strengths 研究の発展に関して一種の障害になっていると考えた。この点、Ruchらが開発したCSRFは24項目しかないため大規模の研究や縦断研究に利用することが期待できる。他方でこの簡易版の各項目の問いはとても長く、その中に西洋文化や哲学的内容に関わる用語が多く含まれており、わかりやすく正確に翻訳することは簡単ではない。そこで本稿では、これを丁寧に日本語・中国語へ翻訳した。これを用いることで、大規模調査だけでなく、国際比較研究や東洋文化を character strengths の観点で記述する研究の展開が期待できる。

Keywords : character strengths, CSRF, 日中翻訳, VIA-IS簡易版

1 はじめに

Seligman & Csikszentmihalyi (2000) は、ポジティブ心理学の目的について、たとえば鬱やトラウマ等、心理学の焦点を人生の悪い出来事を修復することのみに当てるのではなく、人の幸せにつながるような人のポジティブな精神的機能の方に注目して研究する必要性をあげている。加えて、DSMがさまざまな人の病的な側面を網羅し、それぞれの持つ特徴を整理したように、ポジティブな特性を網羅して、それぞれについての研究を整理し、さらなる研究の発展の基礎を固める研究を行った(島井, 2006)。この成果が Value in Action Inventory of Strengths (Peterson & Seligman, 2004; 以下VIA-ISと表記)である。

VIA-ISは大人を対象に、思考、感情、行動に反映されるポジティブな特性である character strengths (Park, Peterson, & Sligman, 2004) を6領域(知恵と知識、勇気、人間性、正義、節度、超越性)、24種類のカテゴリーで構成したリストである。Character strengthsの関連研究では、VIA-ISは基準の尺度として使われており(Ruch et al., 2014)、日本でも紹介されている(大竹他, 2005)。

他方でVIA-ISは24の各カテゴリーにそれぞれ10個の問いで構成された、総計240項目からなる尺度である(Peterson & Sligman, 2004)。このため、回答者に大きな負担をかけることが問題点の一つだと考えられる。たとえば、大規模研究や縦断研究では、6領域24種類で240項目もあるこの尺度において、すべて丁寧に回答した人だけを分析の対象にする研

岡山大学学術研究院教育学域 700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

*兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科 673-1494 加東市下久米942-1

**浙江師範大学行知学院 321-004 金華市迎賓大道688

A Translation of CSRF (Character Strengths Rating Form) from English to Japanese and Chinese: A Simple Scale for VIA-IS

Tazuko AOKI, Minglu LI*, and Liqin CAO**

Faculty of Education, Okayama University, 3-1-1 Tsushima-naka, Kita-ku, Okayama 700-8530

*The Joint Graduate School in Science of School Education, Hyogo University of Teacher Education, 942-1 Shimokume, Kato 673-1494

**Xingzhi College, Zhejiang Normal University, 688 Yingbin Street, Jinhua 321-004

究は、参加者を募るのも簡単ではない。加えて、この尺度と他の尺度との関連を検討しようとする計画を立てる場合、さらに質問項目が多くなる。このようなことを考える時、少なくとも小中学生における character strengths 研究を実施するのは困難であろう。

この問題を解決する方法は2つある。一つは領域種類ともに絞って、全体の項目数を減らす方法である。井邑・青木・高橋・野中・山田(2013)では、小中学生を対象とすることを念頭において、因子分析を用いてVIA-ISの領域や種類を検討し、24項目4種類のカテゴリーから成る品格尺度を開発した。その際、VIA-ISを基盤にしながらも、カテゴリーや項目をすべて用いるのではなく、小中学生の理解してもらいやすいこと、日本の学校の文脈にふさわしいものを選んで尺度を開発している。この方法は、日本の児童生徒にとっては、短時間で回答してもらえ、他の変数との関連も併せて調査できる点が優れているが、他方で、中国等、他の文化圏の児童生徒にとって、生活の文脈、学校の文脈に必ずしも即しているとは言えない点が限界であるといえる。

もう一つの方法は、全ての領域を含む24種類のカテゴリーはそのまま残し、各カテゴリー10個ずつある質問項目の数を減らして総数を削減する方法である。Ruch et al. (2014)はこの方法でCharacter Strengths Rating Form (以下、CSRF)を作成した。このCSRFは各カテゴリーに1つずつの質問項目、総計24項目で構成されており、character strengthsを測定するための有効性が検証されている(Ruch et al., 2014)。他方で、この尺度は、1つの問いに、10項目分の内容が凝縮しているため、各問いが長く、内容は複数の類似した関連用語が示された難解なものとなっている。しかし井邑他(2013)に比して、特定の国の文脈に適合するように作成されたものではないため、国際比較研究には適している。項目総数も少ないため、幅広い参加者に参加してもらえ、他の変数との関連も検討しうる尺度と言えよう。

このようにCSRFは広い研究分野での活用は期待できる。他方で翻訳が難しいという難点がある。例えば、character strengthsの発想はアリストテレスの倫理学が基盤になっている。つまりアリストテレスのほかプラトン等、ギリシャ哲学や西洋思想の延長上にある。また、VIA-ISの“V”が“Value”であることにもみられるように、西洋的な「価値」や「徳」を中核とする尺度である。これを東洋文化の中で育った日本人や中国人に示すには、ある程度の意識も必要になるため、翻訳は簡単ではない。

本稿は、尺度の作成者Willibald Ruch氏にCSRF

の英語版を請求して、使用の承諾を頂いた上で翻訳にとりかかった。そして、国際比較研究に耐えられるように一文ずつディスカッションしながら丁寧に翻訳作業を行った。なお、第二著者は中国で日本語翻訳の修士号と中日翻訳2級の資格を得た後、日本でcharacter strengthsの研究で修士号を得た。第三著者は中国の大学で英語を教えている教員である。この3人で、徹底的に議論して、英語の内容をくみ取りながら、日本語と中国語で同じニュアンスの意味になるように、しかも読みやすい質問となるように、言葉を選んでいった。

翻訳は簡単ではなかった。例えば、Appreciation of Beauty and Excellence (awe, wonder, elevation)の中に、“elevation”という言葉がある。その直訳は“道徳的上昇”である。しかしそのまま訳してしまうと、なぜで美と卓越性への理解に道徳的上昇があるのかが理解できない。Peterson & Seligman (2004)によると、美や卓越性は物理的な美しさや高い技術に限らなく、美德もその一種である。よって、ここでは“elevation”を“道徳的上昇”と訳すのではなく、徳と美や卓越性との繋がりをイメージしやすい“崇高の美”という言葉にした。中国語訳も日本語訳と同じように、“崇高的美”と訳した。

また、言葉の中には、訳語が日本語と中国語で同じであってもニュアンスが異なるものもある。例えば“generosity”の直訳は日本語も中国語も“気前の良さ”である。しかし議論を通して、日本語と中国語ではニュアンスが違うことがわかった。中国語ではそのまま翻訳できるが、日本語には“気前の良さ”には、若干ネガティブな意味が含まれている。そこで日本語のネガティブなニュアンスを取り除くために、日本語は「物惜しみしない寛大さ」と訳した。その他、英語、日本語、中国語の語順や文法、主語などが異なる点など、細かく考慮しながら、自然な訳文を作成することを目指して工夫を重ねて訳したのが表1、表2である。

CSRFはVIA-ISを簡略することに挑戦した意味ある尺度だと考えるが、この翻訳が難しいため日中の研究でほぼ利用されていないのではないかと考えた。そこで本稿では、CSRFの日本語訳と中国語訳を提案することでcharacter strengthsに関わる研究が世界中で展開する資料を提供したい。

2 CSRFの教示文、選択項目、質問項目の翻訳

国際比較研究に耐えるものにするためには、尺度だけでなく、教示文も同じニュアンスになるように訳す必要がある。教示文の訳は以下ようになった。

日本語 (表1): “以下の24項目は、多くの人が望む特徴です。これらの項目はあなた自身に当てはまりますか、正直に、正確に教えてください。

なりたい人をイメージして答えるではなく、ありのままの自分に基づいて教えてください。あなたに最も近いと思われる回答を次から1つ選んでください。”

9件法で、“1. まったく私らしくない”, “2. かなり私らしくない”, “3. おおよそ私らしくない”, “4. 少し私らしくない”, “5. どちらともいえない”, “6. 少し私らしい”, “7. おおよそ私らしい”, “8. かなり私らしい”, “9. ぴったり私らしい”。

中国語 (表2): “以下24条陈述反映了许多人渴望拥有的特点。该陈述是否符合您的情况, 请务必诚实, 准确地回答!

请不要把自己描述成渴望成为的人, 请根据实际情况作答。请从以下选项中, 选择1个最符合您的情况的回答。”

9件法で、“1. 完全不像我”, “2. 相当不像我”, “3. 有些不像我”, “4. 稍微不太像我”, “5. 哪边都不符合”, “6. 稍微像我”, “7. 有些像我”, “8. 相当像我”, “9. 完全像我”。

3 おわりに

今回の翻訳で、英語、日本語、中国語の翻訳が揃ったことになる。24項目しかないこの尺度を使えば、国際比較研究、縦断研究、他の尺度との関連を検討する研究等、さまざまな研究の展開が期待できる。Peterson & Seligman (2004) では、「中心的な徳」は世界に共通と想定しているが、本当にそうなのかも検討できる。日本や中国等、東洋文化の特徴を character strengths の観点から説明することも可能になるだろう。この成果を公開することで、character

strengths の研究がアジアでも盛んになることを期待したい。

引用文献

- 井邑智哉・青木多寿子・高橋智子・野中陽一郎・山田剛史 (2013). 児童生徒の品格と Well-being の関連——よい行為の習慣からの検討—— 心理学研究, 84(3), 247-255.
- 大竹恵子・島井哲志・池見陽・宇津木成介・ピーターソン, C.・セリグマン, M. E. P. (2005). 日本版生き方の原則調査票 (VIA-IS: Values in Action Inventory of Strengths) 作成の試み 心理学研究, 76, 461-467.
- Park, N., Peterson, C., & Seligman, M. E. P. (2004). Strengths of character and well-being. *Journal of Social and Clinical Psychology, 23*(5), 603-619.
- Peterson, C., & Seligman, M. E. P. (2004). *Character strengths and virtues: A handbook and classification*. New York: Oxford University Press.
- Ruch, W., Martínez-Martí, M. L., Proyer, R. T., & Harzer, C. (2014). The Character Strengths Rating Form (CSRF): Development and initial assessment of a 24-item rating scale to assess character strengths. *Personality and Individual Differences, 68*, 53-58.
- Seligman, M. E. P., & Csikszentmihalyi, M. (2000). Positive psychology: An introduction. *American Psychologist, 55* (1), 5-14.
- 島井哲志 (2006). ポジティブな特性としての人徳— 一日米の比較— 島井哲志 (編) ポジティブ心理学: 21世紀の心理学の可能性 (pp.155-174) ナカニシヤ出版.

表1 Character Strengths Rating Form (日本語訳)

創造性 (オリジナリティー, 工夫): 創造性に富み, 問題を解決する斬新で有益な方法について高度な思考力を持ち, しばしば創造的で独創的なアイデアを生み出す。よりよい解決法があれば, 伝統的な解決法のみでは満足しない。
好奇心 (興味, 斬新さを探し, 経験の開放性): 好奇心旺盛で, 日常生活の中で進行するすべての体験そのものに興味を持ち, 多様なトピックや話題にも非常に興味を感じて魅了される。世界を探索して発見することが好きで, 退屈感はめったに感じない。忙しい状態を維持することは簡単である。
判断力, オープンマインド (批判的な思考): 判断力は高く, 物事を徹底的に考える。自分の考えや信念に疑問を持ち, いろんな角度から検討することが好きである。何かを決める時, 短絡的に結論を出すではなく, 事実に基づいて決めていく。エビデンスに基づいて考えを変えることができる。
学習への愛: 好奇心旺盛で, 学ぶ意欲がある。新しいスキル, トピック, 知識体系をマスターすることが好きで, 学ぶことにワクワクする。新しいスキルや能力を身につけたり, 今が持っている知識の範囲を広げていくのが好きである。
見通し (知恵): 賢い人だと思われ, 他者からアドバイスを求められる。人生についての全体像と成熟した見解を持っている。
勇気 (勇敢): 勇敢で勇気を持っていて脅威や挑戦, 困難や苦痛から逃げることはしない。反対の意見が出て, 自分の見解や信念を率直に述べる。
根気 (粘り強さ, 勤勉さ): 根気よく, 勤勉な人で, 始めたことをきちんと終わらせ, 支障があっても進んでいく。内的要因あるいは外的要因で気が散ることがなく, 課題の完成を楽しむ。
誠実 (信憑性, 正直): ほとんどの場合, 正直に真実を語る。自分のことをありのままに見せて, 誠実に行動する。現実的に物事を考えており, 偽りはない。
情熱 (活気, 熱意, 精力, エネルギー): 情熱的でたくさんのエネルギーと熱意で自分の目標を追いかける。中途半端ではなく, やることを愛し, 新しい日々を期待している。生活は冒険だとみなしている。
愛すると愛される能力: 愛する能力が高度に発達し, 安定した愛着を持っているので他者との親密な関係, 特に相互に分け合いと思いやりを寄せ合う関係を重視する。
親切 (物惜しみしない寛大さ, 養育, ケア, 共感, 利他的な愛, “優しさ”): 親切で寛大で物惜しみしなく, 人助けや善い行いをするのが好きである。寛大で物惜しみしなく, 他者に親切にすることを楽しむ。
社会的知性 (感情的知性, 人格的知性): 社会的に有能で, 他者や自分の動機や感情を意識し, 様々な社会的状況に適応するには何をすべきかを知っている。
チームワーク (市民性, 社会的責任, 忠実): チームワークの高いスキルを持って, グループやチームの一員としてうまく働く。グループに誠実であり, チームメンバーでいることが一番の関心である。
公平: 公正と正義の概念に従い, 全ての人を等しく扱うことが中心的な原則である。個人的感情に左右されることなく, 誰にも公平にチャンスを与える。
リーダーシップ: 高いリーダーシップを持ち, グループ (一員として) の仕事の完成を励ますと同時に, 他のメンバーと良好な関係を保ち, みんなを平等に扱う。グループ活動を組織し, 活動の進行を見守ることができる。
許し, 慈しみ: 他者の過失をたやすく許せる。人に二度目のチャンスを与える。慈しみをもち, 根に持たないことは原則である。
謙虚さ, 謙遜: 謙虚で他者からの注目を求めず, 自分のことは身の丈以上に特別だと思わない。自分のことは実績で語る。周囲の人は謙虚で謙遜する人だという。
慎重さ: 行動する前に, 自分の選択の結果について注意深く考える。後で後悔するかもしれないようなことは言わないし, やらない。
自己統制 (セルフコントロール): 高度に発達した自己統制能力を備え, 感覚と行動を統制することができる。生活の様々な分野 (食欲, 感情など) をコントロールすることができ, 社会的ルールにも適応できる。
美と卓越性への理解 (畏敬の念, 驚嘆の念, 崇高の美): ものよさに気づくことができ, 理解する。生活の様々な領域において (自然から芸術, 数学, 科学, 毎日の体験まで), 美しさや卓越性, 高い技術にとっても興味を感じる。
感謝: 感謝の心を持ち, 周りに起こるよいことに気付いて感謝する。いつも感謝するので, 周囲の人から恩を大事にする人だと思われる。
希望 (楽観主義, 希望を持つ未来志向): 楽観的で将来に一番いいことが起こると期待している, つまりよい未来は実現できると信じている。最もよい結果を期待し, 目標達成のために働く。
ユーモア (遊び心): 明るく笑ったり, からかったり, 他者に笑顔をもたらすのが好きである。多様な状況で明るい一面を見ようとする。
信仰心, スピリチュアリティ (信仰, 信念): 宗教的なスピリチュアリティを持っている人は, 万物には一貫してスピリチュアルな信念や意味があると信じている。この宗教的な信念は, 生活にも及んでいて, 宗教的な安心感と強さを与えている。

表2 Character Strengths Rating Form (中国語訳)

创造力 (独创性、聪明才智) ：我对解决问题富有创造力，方法新颖且富有成效，并且经常产生创造性和原创性的想法。如果有更好的解决方案，我不会仅满足于传统的方法。
好奇心 (兴趣、寻找新颖性、经验开放性) ：我富有好奇心。我对日常生活中所有正在进行的体验本身都会产生兴趣，而且对各种话题和主题都非常感兴趣和着迷。我喜欢探索和发现世界，很少感到无聊，而且很容易让自己忙起来。
判断力、思想开明 (批判性思维) ：我的判断力高度发达，思考事情很透彻。我喜欢质疑自己的想法和信念，并且从各个角度去考察。做决定的时候，我不会仓促论断，而是依据事实去判断。我能够基于证据来改变想法。
热爱学习 ：我的好奇心旺盛，并且愿意学习。我喜欢去掌握新的技术、话题和知识体系，并且对于学习感到兴奋。我不断学习新技术和能力，拓宽已有的知识范围。
远见 (智慧) ：大家认为我是智慧的，并且有人向我征求意见。我对于人生有着全局观和成熟的见解。
勇敢 (英勇) ：我勇敢且有勇气，不会在威胁、挑战、困难或者伤痛前逃避。即使存在反对意见，我也会为自己的观点和信念发声。
毅力 (坚持不懈、勤奋) ：我是坚持不懈、勤奋的人，做事有始有终，不管遇到什么障碍也会坚持下去。我不会被内在或外在的因素分散注意力，并且享受完成任务的乐趣。
诚实 (可靠性、正直) ：大体来说我讲真话并且以真实的方式来表现自己，真诚地行动。我脚踏实地，没有任何伪装。
热情 (活力、热忱、精力、能量) ：我非常热情，追求目标的时候充满了能量和热忱。我不会半途而废，热爱自己所做的事情，并且期待每个新的一天的到来。我将生活看作一场冒险。
爱人和被爱的能力 ：我具有高度发达的爱的能力，对爱有安全感，重视与他人的亲密关系，特别是那些相互的分享与关心得到回应的关系。
亲切 (慷慨、培养、关心、共情、利他的爱、“和蔼可亲”) ：我待人亲切、慷慨，喜欢帮助别人、做善行。我乐于对人慷慨、友善。
社会智力 (情绪智力、人格智力) ：我的社交能力强，能够意识到他人和自己的动机以及情感，并且知道如何适应不同的社会情况。
团队合作 (公民身份、社会责任、忠实) ：我具有高水平的团队合作技巧，作为团体或团队的一员工作出色。我忠实于团体，并且把成为团队成员视为核心因素。
公平 ：基于公平和正义的概念对大家一视同仁是我的核心原则。我不会被个人感情左右，而是公平地给每个人机会。
领导才能 ：我具有高度的领导才能，鼓励团体（自己作为其中一员）去完成任务，同时与团体成员保持良好的关系，并且平等地对待每个人。我能够组织团体活动，确保活动的完成。
宽恕、仁慈 ：我容易原谅犯错的人。我给别人第二次机会。仁慈且不会心存报复是我的原则。
谦虚、谦逊 ：我是谦逊的人，不会寻求关注也不认为自己比实际情况更特别。我用成就来证明自己。其他人评价我是谦虚、谦逊的。
谨慎 ：在行动之前，我仔细考虑自己的选择所带来的结果。我不说或不做那些之后可能会后悔的事。
自我调节 (自制力) ：我具有高度发达的调节能力，能够调节自我的感觉和行为。我能够控制生活的不同领域（食欲、情感等）并且非常自律。
对于美和优秀事物的理解 (敬畏、惊叹、崇高的美) ：我注意到周边的事物并且理解其中的美。我对于生活中各个领域（从自然到艺术、数学、科学以及每天的体验）的美，卓越的事物，娴熟的表演都非常感兴趣。
感谢 ：我心怀感激，意识到并且感恩发生在自己身上的好事。因为我总是表达感激之情，别人评价我是感恩的人。
希望 (乐观主义、怀抱希望的未来导向) ：我很乐观，期待着未来发生最好的事，我相信美好的未来可以被实现。我期待最好的结果，并且通过工作来实现目标。
幽默 (逗趣) ：我喜欢笑，打趣并且给他人带来欢乐。我试图在各种情况下看到光明的一面。
虔诚、精神性 (信仰、信念) ：我有宗教或精神信仰，我相信世界万物之中有着连贯一致的精神性的信念和意义。这样的宗教信仰塑造了我的行为方式，给予我安慰和力量。

i 本研究を遂行するに当たり，科学研究費（基盤B；課題番号20H01680；代表，青木多寿子）の経費を使用した。